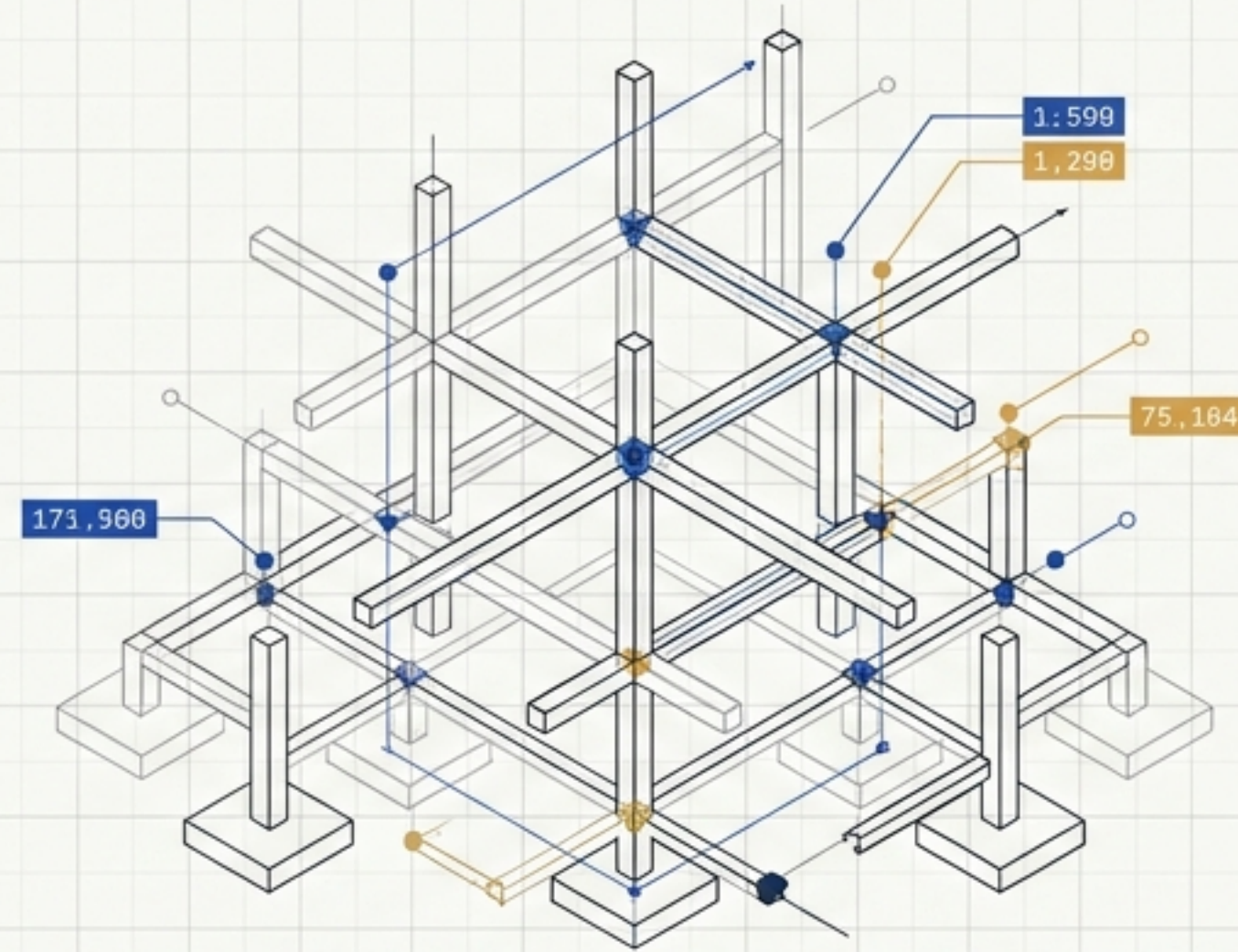
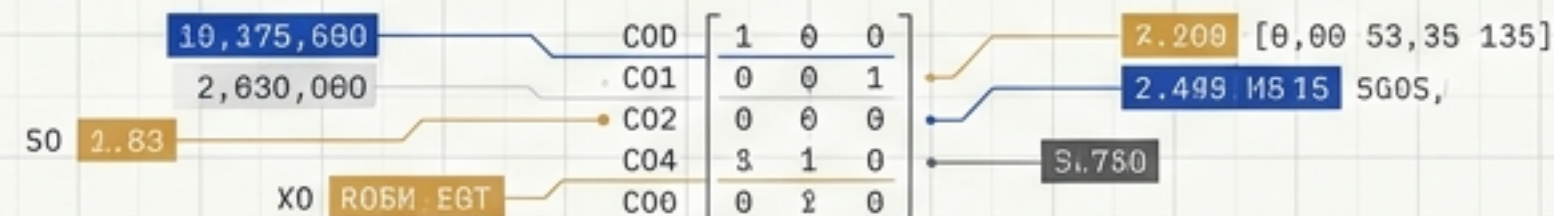


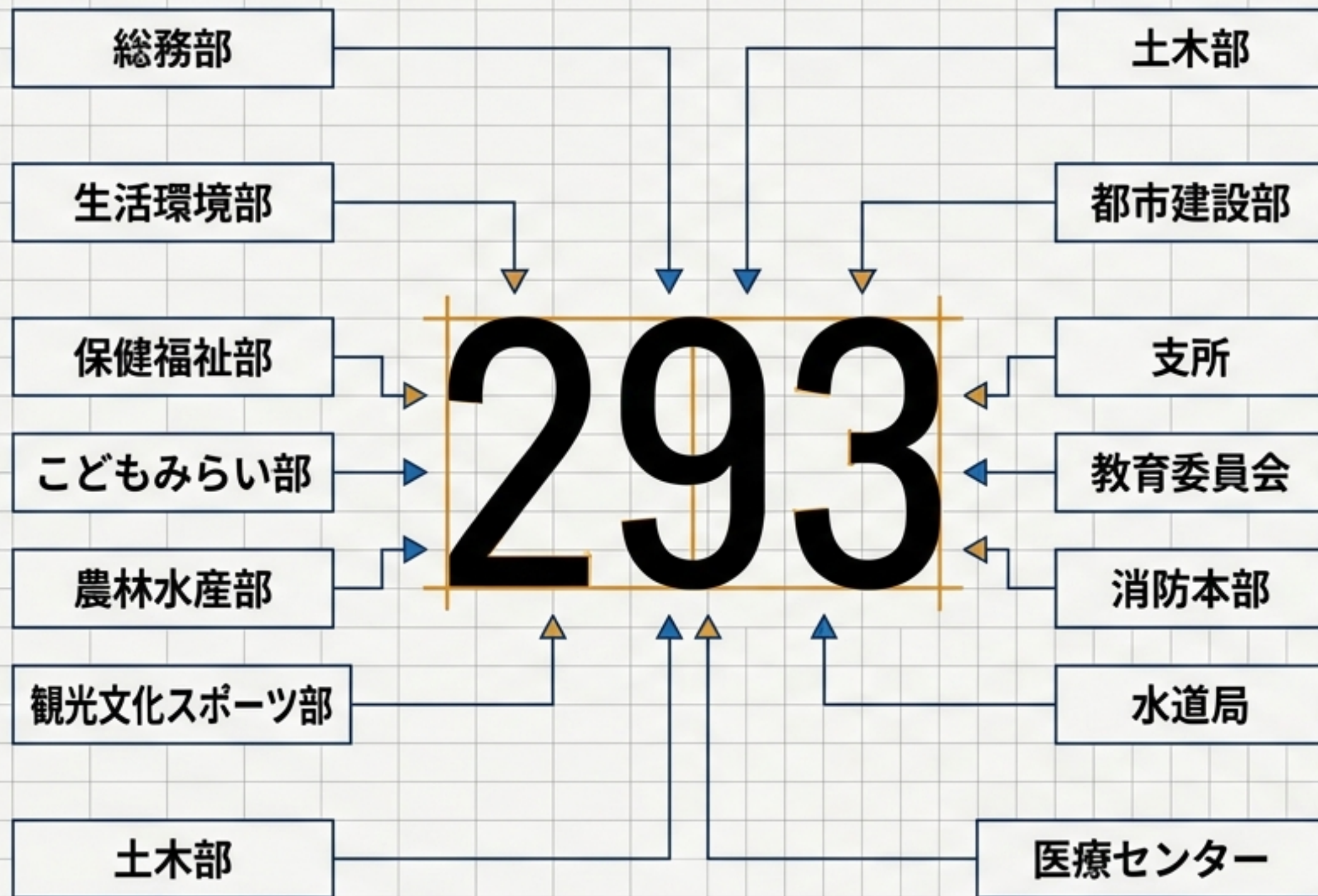


いわき市 公共積算ハック

「金入設計書」をデータベース化し、積算精度を極限まで高める実践メソッド



令和6年秋、ゲームのルールが変わった



対象

予定価格**500万円以上**の
建設工事等（営繕・土木含む）

鮮度

契約締結後、
約2週間以内で公表開始

期間

当該年度を含む
最大2年度間掲載

「過去のデータは使えない」という思い込みを捨てる

従来のアプローチ

不明な歩掛
への対応

勘と経験による推測

積算ソフト
への依存

単一ソフトの盲信による
ヒューマンエラー

曖昧な仕様
の解釈

AかBか、
コイントスのような判断

データ駆動型アプローチ

過去の「**正解金額**」を
アンカーにした**逆算**

金入設計書による
完全独立ダブルチェック

過去の落札実績に基づく
「**市が求める論理**」の完全トレース

未知の歩掛を逆算する「リバーズ・エンジニアリング」



〇〇工事 E1-201010 (熱線センサ親機)
→ 歩掛不明

Google検索 いわき E1-201010
→ いわき市〇〇整備工事がヒット

過去の正解価格 = ¥10,800

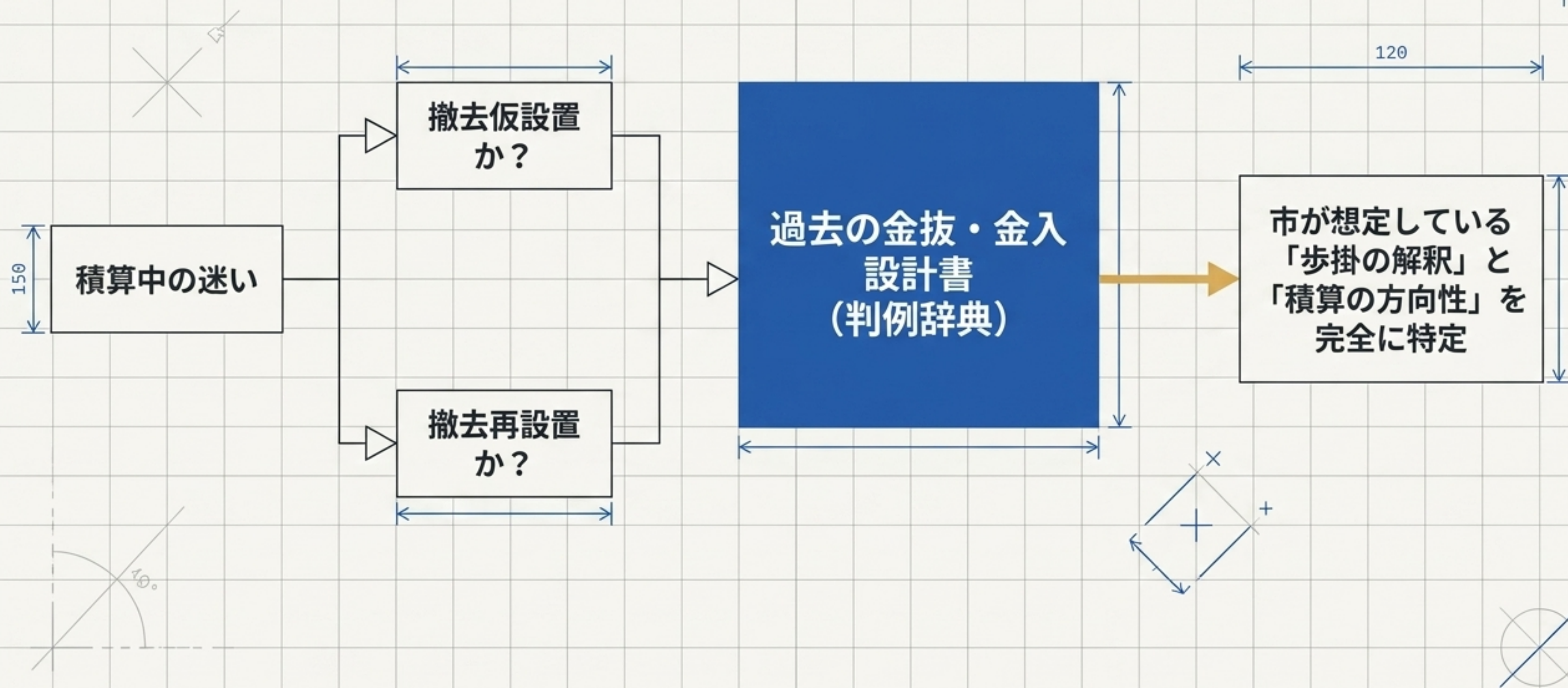
執務並行分を考慮し微増と予測
→ ¥11,000弱

現在の正確な見積 = ¥11,100

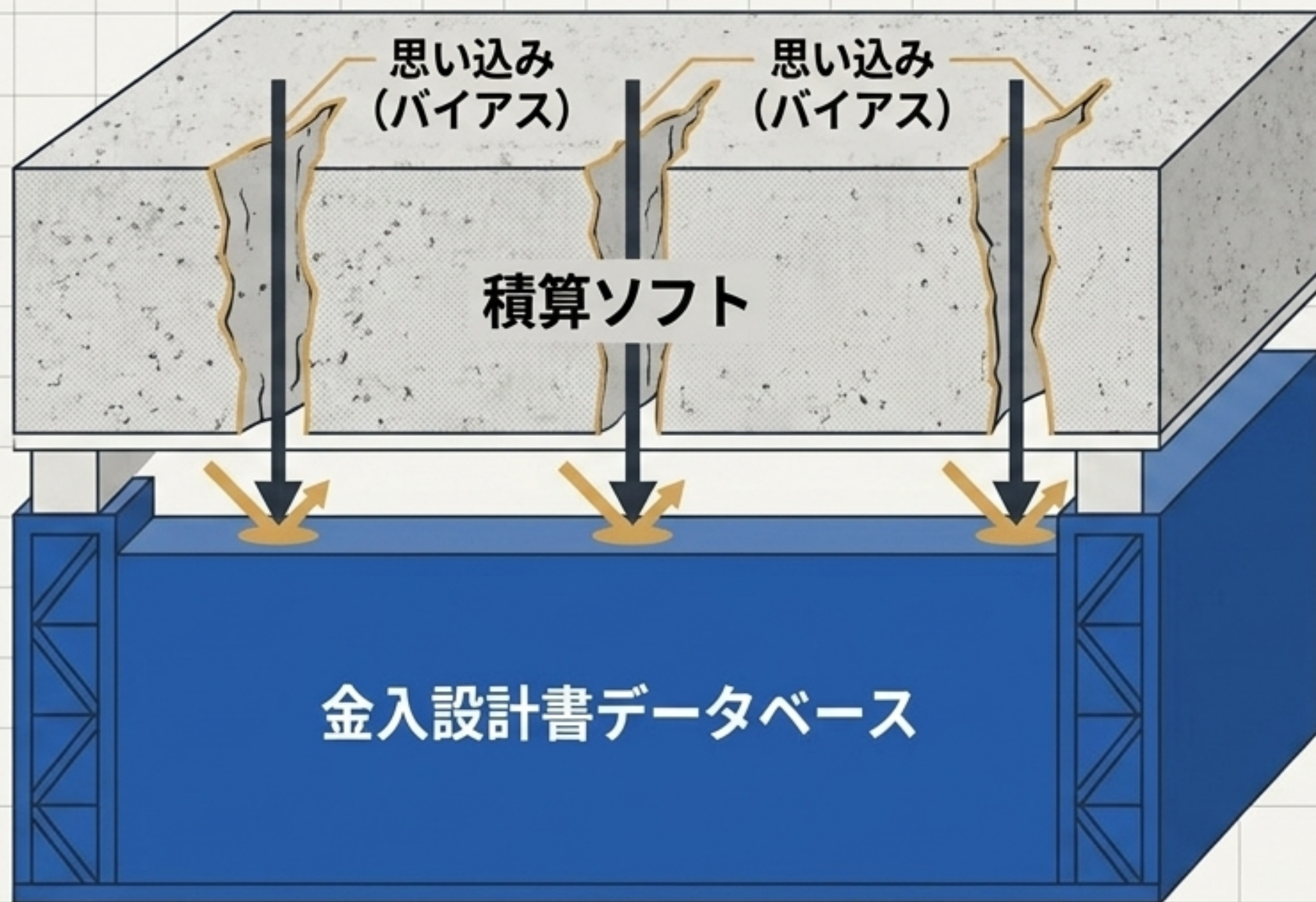
アプローチA: 物価本で過去の単価を確認し、過去の金入れ金額に「ぴたり合う」よう歩掛を調整。

アプローチB:
積算ソフトの地区を「いわき」、
単価適用日を「過去」に設定し逆算
検証。

曖昧な仕様に対する「市の期待論理」をトレースする



致命的なエラーを防ぐ、バイアス・フリーの「安全網」



仮設の恐怖

数量が多く歩掛項目が複雑なため、一度の入力ミスが**致命傷**に

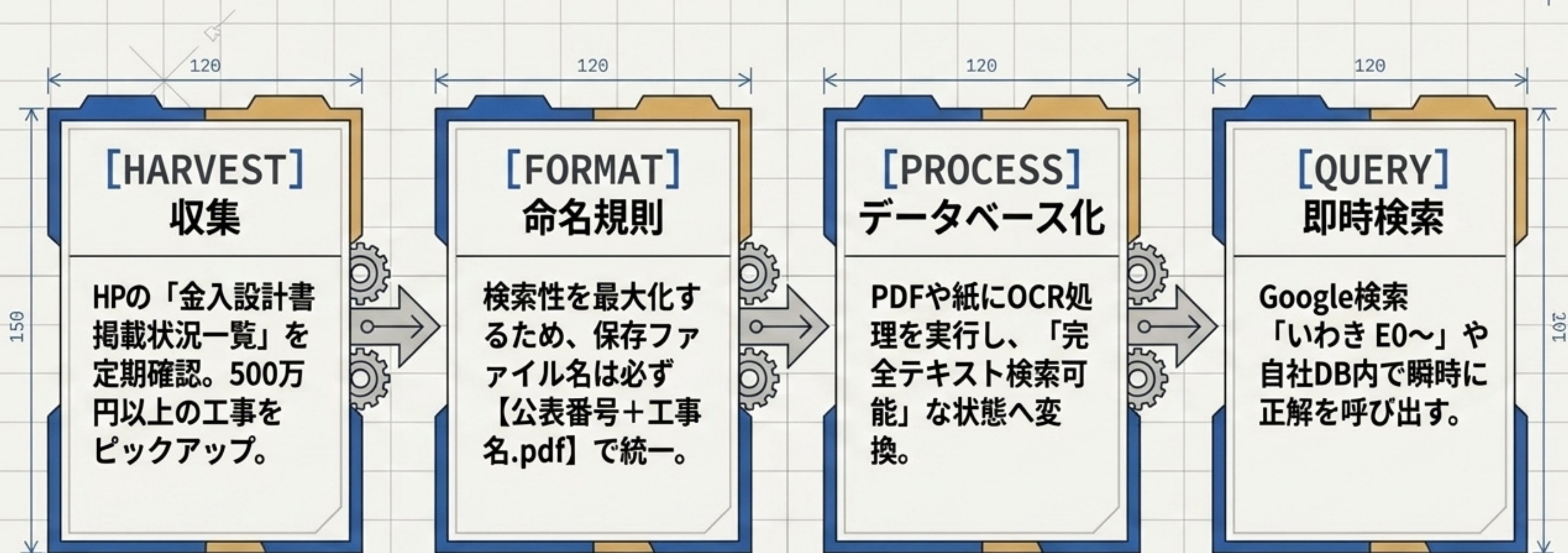
ハイブリッド・チェック

メビウス等でベース算出後、**同コードの過去データを参照し**大きな間違いがないかを**最終確認**

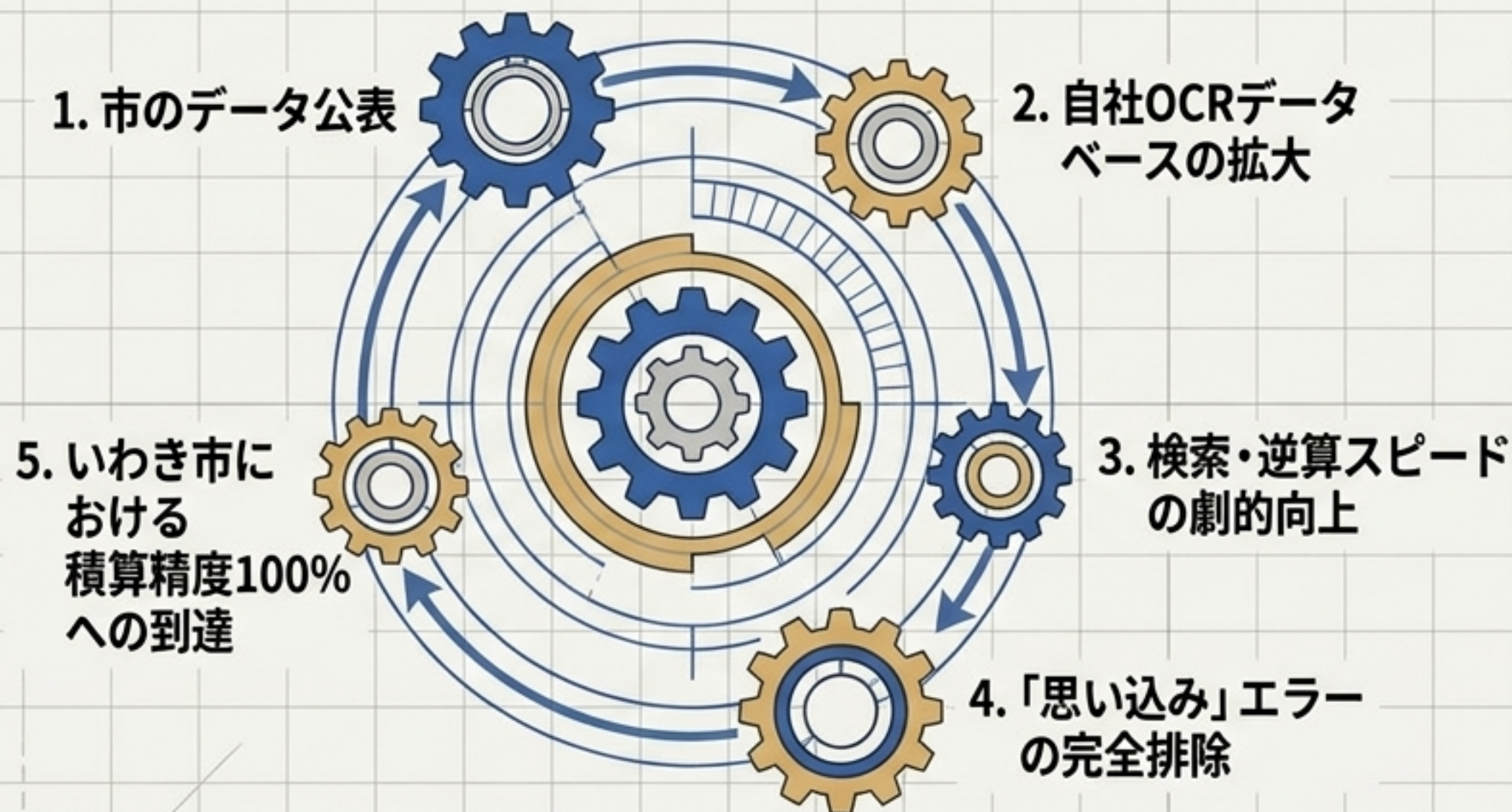
思い込みの排除

異なるデータソースからの検算が**完璧な防波堤**となる

優位性を自動化する「データ・エンジン」の構築



圧倒的な競争優位性を生む「複利のサイクル」



データは最大2年で消える

掲載期間は最大2年度間。今すぐ収集を始めた企業だけが、独自の巨大な「正解データベース」を保有できる。

過去のデータは単なる記録ではない。それは、次回の入札を勝ち取るための「精密な設計図」である。今すぐ、自社のデータベース構築をスタートせよ。